

小6「未来がよりよくあるために」

クリーブランド日本語補習校の深町喜代美先生が、2018 年 9 月 に、AG5 の教案を使用して授業をしてくださいました。クリーブランド日本語補習校の 6 年生は、国際結婚家庭にアメリカで生まれた、永住予定の 3 名です。日本語レベルの厳しい児童もいるようです。

○資料 1 ワークシート「自分の未来を考える」について

- ・ 家庭学習で行わせた。自分の未来を予測するのは楽しくできていたようで、導入として効果があると思った。
- ・ ワークシートを参考に、各自に発表させ、図表に書き込ませた。ほかに、4 月から導入している新聞記事のスクラップカードや夏休みの調べ学習も用いた。参考資料が複数あったのは良かった。
- ・ ブレーンストーミングではほとんど意見がでてこないため、教師がリードしながら行った。考えが浮かんでも日本語がでてこないため、言葉を引きだすのにかなり手助けしなくてはならなかった。

○「なたもだ」作文について

- ・ この方法は、意見文の文章構成を簡単に理解できる良い方法だと思った。継続すれば、少しずつ力がつくことだろう。
- ・ 最初はあまり気のりしない様子だったが、論の展開を予想するのは楽しかったようだ。
- ・ 児童が好きなスポーツやゲームなどを例に示し、興味をもたせた。
- ・ 意見文の構成練習は、1 文ずつ程度だったので、文を書くことに抵抗感がある児童も気軽に書けた。
- ・ 慣れていないので時間がかかり、論の展開に無理があるものもあったが、慣れることが肝心なので細かいところは注意しなかった。
- ・ 「なたもだ」作文に時間がかかり、他の活動を変更しなくてはならなかった。

○評価ルブリックについて

- ・ 項目は、こちらでアレンジしたものを使用した。
- ・ 評価ルブリックの項目を確認することで、目標をもって発表の練習することができて良かった。姿勢、アイコンタクト、声の大きさやスピードに気を付けて発表できた。
- ・ 児童自身が何をどのように評価されるのかが分かり、効果的だと思う。

○読解クイズについて

教師がパワーポイントを用いながら行った。教科書以外の写真などを示し、解説しながら、内容を理解させていった。理解力の手助けに効果的だった。

○日本語が難しい児童について

- ・ 考えるのに時間がかかったり、単語しか出てこなかったりする。
- ・ 好きな話題を取り上げ、文になるように手助けしていった。
- ・ 多少英語が入っても、教師が補いながら進めれば、意見は出てくる。日本語のみにさせると、かなり時間がかかり、考えがストップしてしまう。日頃から日本語の語彙を増やすトレーニングが必要であると感じた。